

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	熊本大学	個人・グループ名	菊池和也	作品名	木馬
-----	------	----------	------	-----	----

姪が生まれ、姪のために何かできればと思い、安全で楽しい遊具を作ろうと思ったのが製作の動機である。利用方法は一般的な木馬と同じで、木馬に乗り、前後に揺れて楽しむものである。私(60kg)が乗っても大丈夫そうであったので強度としては60kg~70kgぐらいが限度であると思われ、幼児が遊ぶには十分な強度である。



工夫した点は、後ろに倒れてしまうと大怪我の危険があるので後ろには倒れすぎないように足の部分の曲線を工夫した。

製作を通して、のこぎりや丸鋸を使用し、正確に木材を切り出す技術や、子どもが乗るので危険がないように表面を処理する技術などが向上した。その中でも一番向上した技術は見通しをたてて、木材を加工する技術である。組み立てや動きのことを考えながら加工していくことは難しかったが、上手くいったのでよかった。